第116号
2024年（令和6年）
5月

たけはら 市民と議会

http://www.city.takehara.lg.jp/gikai/

目次

特　集…… 2
予算特別委員会…… 4
採決の結果…… 6
主な議案…… 8
一般質問…… 9
議員研修会……13
編集後記……14

特集

ぶつかり合う若き力

▲大川道場のみなさん

特集

宇野議員・今田議員が聞く

たけはらこども相撲

竹原の伝統である相撲の発展に貢献されている大川代表、谷崎先生にお話を聞かせていただき、道場の稽古も取材しました。

Q 大川道場の歴史を教えてください。

大川道場は、１９６０年に大川勝初代道場代表が設立されました。現在は広島県相撲連盟理事長である大川真弘代表が、相撲、柔道の指導をされています。

Q 現在の活動されている方の人数を教えてください。

児童、生徒が15名、指導者が９名です。子どもたちは、竹原市内だけでなく、東広島市、三原市、大崎上島町、広島市からも稽古に来ています。

Q 稽古はいつされていますか。

毎週火曜日午後７時半から９時までと、毎週日曜日午前10時から12時までです。

竹原高校
谷崎 大樹先生

大川道場
大川 真弘代表

Q いろいろな大会に参加されているそうですが。

令和6年2月に東京両国国技館であった白鵬杯に参加しましたが、団体戦、個人戦とも決勝トーナメントに進出することはできませんでした。5月は岡山県和気町での大会、6月29日にはバンブー公園体育館で開催されるわんぱく相撲大会に参加します。

今年は大会だけでなく、バンブーお花見デーやこども園で相撲教室をしました。今後も開催したいと思います。

Q 今後の夢をお聞かせください。

子どもたちが目標に向かって成長し、将来、いろんな道に進んでも相撲で学んだことを活かして活躍してくれることです。

Q 市民の皆さんにお伝えしたいことがありますか。

相撲の鍛錬法の中に四股（しこ）・腰割（こしわり）があります。最近、他のスポーツの練習にも取り入れられるなど注目されており、一般の方でも体幹の強化、足腰の強化に効果的で簡単に行えます。

今後、私の所属している広島県相撲連盟も、市民の方の健康増進のため、これらを取り入れた相撲健康体操を普及・発信していく機会を作りたいと考えておりますので、是非参加してみてください。

また、県内唯一の相撲部で頑張っております竹原高校相撲部も応援して頂けたらうれしいです。どうぞよろしくお願いいたします。

誇らし、竹原市。」の実現に向けて

令和6年度 当初予算可決！

重層的支援に要する経費

Q：地域まるごと支えあい体制づくり事業のかじ取り役は誰が担うのか。また、事業の周知はどのようにするのか。

A：まるごと相談窓口は市庁舎内に設置し、社会福祉協議会の職員を配置する。ホームページ、SNS、広報たけはらを通じて周知を図る。

未来の人材育成グローバル化推進事業に要する経費

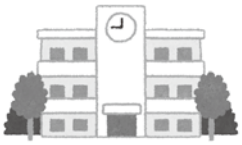
Q：海外派遣業務委託料が増加した理由は。令和6年度に派遣する生徒数は。

A：円安の進行及びコロナ禍明けの旅行需要の高まりによる旅行代金の高騰による。派遣する生徒の数は8名で変わりない。

義務教育学校施設整備に要する経費

Q：東野小学校を仮校舎とする工事の設計も行われると思うが、令和7年9月の開校に向けて、スピード感をもって対応してもらいたいが。

A：賀茂川中学校の改修工事に当たり、一時的にその機能を東野小学校へ移転する予定であり、必要な改修を適宜行い、中学生が適切な学校生活が送れるように整備したい。



文化振興に要する経費

Q：今井政之氏顕彰施設設備検討事業の内容を教えてください。

A：たけはら美術館の休館以降、美術品の展示機能の再構築の検討を続けてきたところ、今井政之先生の作品の寄付を受納した。来年度は、顕彰施設の基本構想に着手する。今井政之先生の作品757点をいろいろな切り口で生涯を紹介できる展示としたい。

港湾管理事務に要する経費

Q：4月から海の駅の新しい指定管理者が業務を始めるが、提案のあった新庄のホテルとの連携についてはどうなっているのか。

A：事業者側においてスケジュールの遅れが生じており、ホテルの改修に着手できていないが、既存のネットワークを活用した取組の提案は予定通りであり、海の駅の運営に関しては、利用者がこれまで通り利用可能であると考えている。

基金管理に要する経費

Q：将来に向けて、財政調整基金はどのくらい必要なのか。

A：財政調整基金は、標準財政規模の15％程度は必要とされているが、直近では25.1％となっている。今後、庁舎移転事業や公共施設ゾーン再整備に当たり、一時的に一般財源が必要となり、起債償還が長く続くことから、基金の取り崩しが必要になる。将来的に少なくとも標準財政規模の15％程度、金額で12億円程度は確保する必要があると考えている。

将来都市像「元気 と 笑顔 が 織り成す　暮らし

■予算特別委員会

委員長　今田　佳男　　副委員長　蕎麦田　俊夫

予算特別委員会には議案第1号令和6年度竹原市一般会計予算および議案第2号から議案第8号までの7件の特別会計・事業会計予算が付託され、3月1日からの4回の部ごとの詳細審査、3月12日に全体審査を行いました。

全体審査での主な質疑

ふるさと納税推進事業99,965千円について

▶質 疑…ふるさと応援寄附金の令和6年度の歳入予算は2億円で企業版ふるさと応援寄附金は1千万円です。観光振興もふるさと納税も竹原市に大変重要な業務であり、その2つをDMOがやることによって、相乗効果があればいいと思う。今後、どのような取組で寄付額を増額させるのか。

▶答 弁…DMOにおいては、観光客数や観光消費額の増に向けて市内事業者と連携し、本市の認知度向上に取り組んでいます。DMOが事務を行うメリットは大きいと考えており、本来業務を推進することでふるさと納税額が増えるよう、返礼品の開発と市のPRをしっかり取り組んでまいりたいと考えています。DMOの業務については、毎月納税額等の実績報告を求め、関係事業者等とミーティングを行って、進捗状況を把握しながら推進してまいりたい。（DMOとは、観光地域づくり法人のことであり、地方創生や町おこしに必要な観光産業に深く関わる組織です。）

竹原観光まちづくり事業に要する経費66,020千円について

▶質 疑…観光振興については、国からの財源を活用して、例年多額の予算を費やして事業をされているが、市民にとってわかりにくいことが懸念材料である。新年度においては、費用に対する効果を丁寧に説明すべきと考えるが。

▶答 弁…財源については、国庫補助を活用して事業を進めてまいります。機構の活動、スタッフの顔が目に見えてこないことは言われており、しっかり事業者に出向き、随時報告しながら取り組んでまいりたい。令和9年度に観光客143万人、観光消費額82億円の目標を立てており、各年度の目標を機構で整理しながら着実に達成し、地域経済が活性化するように取り組んでいきたい。

出会いの機会創出事業1,680千円について

▶質 疑…マッチングアプリで市民が犯罪に巻き込まれる可能性があると思われる。行政が市民である若者を対象に推進する施策として安全性に十分配慮し、費用対効果として設定される指標に向けて、利用者・有識者など関係者の意見を広く取り入れていくことが必要と考えるが。

▶答 弁…この事業は、昨年実施した少子化対策に係る意識調査の結果、出会いの機会を後押しするため、10件程度の他市の先行事例の状況確認もして提案したものです。アプリは既に多くの方が利用されており、出会いが生まれ、結婚につながっていると聞いております。事業者の選定については、インターネット型結婚相手紹介サービス業認証制度による認証やマッチングアプリの安全な利用に係るセミナーを実施して、利用者が安全に利用できる環境づくりに努めます。

議案番号	議案名等	議案等の概要	委付員会託	平井	村上	蕎麦田	下垣内	今田	山元	高重	堀越	川本	大川	道法	吉田	宇野	松本	議決結果
議案第25号	竹原市事務分掌条例の一部を改正する条例案	第６次総合計画の着実な推進に向けて、必要な施策や事業を推進するとともに、多様化・複雑化する市民ニーズや地域課題などに的確かつ迅速に対応できる組織体制とするもの	総務文教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	○	×	原案可決
議案第26号	竹原市都市公園設置及び管理条例の一部を改正する条例案	道路法施行令の一部が改正されたことを踏まえ、市が徴収する都市公園使用料の額について改定するもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決
議案第27号	竹原市地域集会所設置及び管理条例の一部を改正する条例案	竹原市地域集会所のうち、毛木沖集会所を廃止し、城山会館を追加するもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	○	×	×	○	議長	○	○	○	×	原案可決
議案第28号	竹原市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案	地方自治法の一部が改正されたことを踏まえ、育児休業を取得している会計年度任用職員について、勤勉手当を支給するもの	総務文教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	○	○	原案可決
議案第29号	竹原市手数料条例の一部を改正する条例案	介護予防支援事業者の指定等にかかる審査手数料を定めるもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決
議案第30号	竹原市介護保険条例の一部を改正する条例案	竹原市介護保険事業計画に基づき、令和６年度から令和８年度までの介護保険料を定めるもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決
議案第31号	竹原市風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部を改正する条例案	建築等の許可を要しない特例の対象となる法人の名称及び条例中における引用法律の名称を改めるもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決
議案第32号	竹原市漁港管理条例の一部を改正する条例案	漁港漁場整備法の一部が改正され、法律の名称が改められたことに伴い、条例中における引用法律の名称を改めるもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決
議案第33号	竹原市公共下水道条例の一部を改正する条例案	下水道事業の経営健全化及び老朽化施設の更新費用等の財源を確保し、持続可能な下水道事業運営を行うために下水道使用料の改定等を行うもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	原案可決
議案第34号	竹原市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例案	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部が改正され、指定地域密着型サービス等の事業の実施に係る基準等が改められたことに伴い、必要な規定を整備するもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決
議案第35号	竹原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部が改正され、施設が行う書面掲示の義務付けや特定の記録媒体の使用を定める規定の見直しが行われたことに伴い、必要な規定を整備するもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決
議案第36号	竹原市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例案	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部が改正され、別表第２が削除されたことに伴い、必要な規定を整備するもの	総務文教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	○	○	原案可決
議案第37号	令和５年度竹原市一般会計補正予算（第８号）	歳入歳出それぞれ86,495千円を減額補正するもの	総務文教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	○	○	原案可決
議案第38号	令和５年度竹原市国民健康保険特別会計補正予算（第３号）	歳入歳出それぞれ6,730千円を増額補正するもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決
議案第39号	令和５年度竹原市貸付資金特別会計補正予算（第１号）	歳入歳出それぞれ1,870千円を減額補正するもの	総務文教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	○	○	原案可決
議案第40号	令和５年度竹原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	歳入歳出それぞれ19,969千円を減額補正するもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決
議案第41号	令和５年度竹原市下水道事業会計補正予算（第２号）	収益的収入7,538千円、収益的支出1,869千円、資本的収入97,355千円及び資本的支出100,631千円を減額補正するもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決
議案第42号	竹原市副市長の選任につき議会の同意を求めることについて	新谷　昭夫　副市長は、令和６年３月31日をもって任期満了につき、その後任を任命しようとするもの（新谷　昭夫氏）	省略	×	○	○	○	○	○	×	○	○	議長	○	×	×	×	原案同意
発議第6-1号	竹原市議会委員会条例の一部を改正する条例案	竹原市の行政組織が改正されることに伴い、常任委員会の所管について改正後の行政組織に応じた体制とするもの	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	原案可決
発議第6-2号	竹原市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例案	地方自治法が改正されたことに伴い、議員個人による請負の状況の透明性を確保するもの	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決
発議第6-3号	学校の業務量に見合った教職員の配置及び長時間労働を抑制するため教育職員に時間外勤務手当及び休日勤務手当の支給を可能とすることを求める意見書（案）	地方自治法第99条の規定により意見書を提出するもの	省略	○	×	○	○	○	○	×	○	○	議長	×	○	○	○	原案可決
発議第6-4号	保育所等保育施設の職員配置基準と処遇改善を求める意見書（案）	地方自治法第99条の規定により意見書を提出するもの	省略	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決

●令和6年第1回定例会　議案概要・採決結果

令和6年2月20日～令和6年3月15日　○は賛成　×は反対

議案番号	議案名等	議案等の概要	委付員会託	平井	村上	蕎麦田	下垣内	今田	山元	高重	堀越	川本	大川	道法	吉田	宇野	松本	議決結果
報告第 1 号	令和 5 年度竹原市一般会計予算の補正について	低所得者支援等給付金給付事業を実施するために行った補正予算の専決処分について報告するもの	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案承認
議案第 1 号	令和 6 年度竹原市一般会計予算	予算の総額を歳入歳出それぞれ 16,618,442 千円と定めるもの	―	○	×	×	×	×	×	○	×	×	議長	×	○	○	○	修正案否決
			予算	×	○	○	○	○	○	×	○	○	議長	○	×	×	×	原案可決
議案第 2 号	令和 6 年度竹原市国民健康保険特別会計予算	予算の総額を歳入歳出それぞれ 2,757,095 千円と定めるもの	予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	原案可決
議案第 3 号	令和 6 年度竹原市貸付資金特別会計予算	予算の総額を歳入歳出それぞれ 7,388 千円と定めるもの	予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決
議案第 4 号	令和 6 年度竹原市港湾事業特別会計予算	予算の総額を歳入歳出それぞれ 67,632 千円と定めるもの	予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決
議案第 5 号	令和 6 年度竹原市公共用地先行取得事業特別会計予算	予算の総額を歳入歳出それぞれ 1 千円と定めるもの	予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決
議案第 6 号	令和 6 年度竹原市介護保険特別会計予算	予算の総額を歳入歳出それぞれ 3,380,751 千円と定めるもの	予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決
議案第 7 号	令和 6 年度竹原市後期高齢者医療特別会計予算	予算の総額を歳入歳出それぞれ 611,753 千円と定めるもの	予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	原案可決
議案第 8 号	令和 6 年度竹原市下水道事業会計予算	予算規模を 1,094,612 千円と定めるもの	予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	原案可決
議案第 9 号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	人権擁護委員中 有本　圭司 委員は、令和 6 年 6 月 30 日をもって任期満了につき、その後任委員を推薦しようとするもの（有本　圭司氏）	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	異議なし
議案第 10 号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	人権擁護委員中 福光　多榮子 委員は、令和 6 年 6 月 30 日をもって任期満了につき、その後任委員を推薦しようとするもの（福光　多榮子氏）	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	異議なし
議案第 11 号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	人権擁護委員中 竹本　功 委員は、令和 6 年 6 月 30 日をもって任期満了につき、その後任委員を推薦しようとするもの（竹本　功氏）	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	異議なし
議案第 12 号	福山市と竹原市との間における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について	福山市と竹原市との間における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関し、福山市と協議することについて、議会の議決を求めるもの	総務文教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	○	×	原案可決
議案第 13 号	市道路線の廃止、認定及び変更について	道路法の規定により、市道路線を廃止、認定及び変更することについて、議会の議決を求めるもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	○	○	原案可決
議案第 14 号	竹原市郷土産業振興館の指定管理者の指定について	竹原市郷土産業振興館の指定管理者を指定するもの	総務文教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	○	×	原案可決
議案第 15 号	大久野島毒ガス資料館の指定管理者の指定について	大久野島毒ガス資料館の指定管理者を指定するもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	○	×	原案可決
議案第 16 号	竹原市コミュニテイ集会所の指定管理者の指定について	竹原市コミュニテイ集会所の指定管理者を指定するもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	原案可決
議案第 17 号	竹原市黒滝ホームの指定管理者の指定について	竹原市黒滝ホームの指定管理者を指定するもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	原案可決
議案第 18 号	老人集会所の指定管理者の指定について	老人集会所の指定管理者の指定について	民生都市建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	原案可決
議案第 19 号	竹原市ふくしの駅の指定管理者の指定について	竹原市ふくしの駅の指定管理者を指定するもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	原案可決
議案第 20 号	竹原市犯罪被害者等支援条例案	犯罪被害者等基本法に基づき、犯罪被害者等の支援に関し、基本理念を定めるとともに支援するための施策の基本となる事項を定めるもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決
議案第 21 号	竹原市空家等の適正な管理に関する条例案	空家等に関する対策を推進するため、空家等の適正な管理に関し必要な事項を定めるもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決
議案第 22 号	竹原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	県内の医療費等から推計された標準保険料率を参考に各種税率及び税額を定めるもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	原案可決
議案第 23 号	竹原市監査委員条例等の一部を改正する条例案	地方自治法の一部が改正されたことに伴い、条例中における引用条項の整理を行うもの	総務文教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	○	○	原案可決
議案第 24 号	竹原市隣保館設置及び管理条例の一部を改正する条例案	竹原市隣保館のうち、吉名隣保館を廃止するもの	民生都市建設	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決

…主な議案…

議案第1号　令和6年度竹原市一般会計予算の修正案

3月15日の本会議にて「議案第1号　令和6年度竹原市一般会計予算」の修正案が提出されました。

・**修正内容**／第1条第1項中「16,618,442千円」を「16,550,742千円」に改める。

・**修正の理由**／①一般社団法人竹原観光まちづくり機構関連予算については、その事業計画、予算内容、使途、人員体制、関係事業者との合意形成、費用対効果など不明瞭な点が多く、今後の運営費についても多額の公金投入が予想されることから、この関連予算を認めることは出来ない。今後、この事業を継続する場合には、住民や関係事業者との合意形成の進捗度とDMOの必要性について、具体的な説明を求める。

②出会いの機会創出事業については、マッチングアプリを利用した婚活を行政が援助する事業との説明を受けたが、マッチングアプリ登録者の中には悪意のある者が存在し、全国的にも事件が頻発している。よって、マッチングアプリに100％の安全性が担保されない限り、本事業を実施すべきでない。

●議案の修正ってなに？

市長から議会に、議案（条例の制定・改廃、予算を決めることなど）の提出があった場合、本会議及び委員会で審査し、議決を行います。

議案の内容に対し、議員（委員）は必要に応じて議案を修正することができます。議案の修正を行う場合、その議案の目的の範囲内において、修正案を添えた「修正動議」を提出することとなります。

議案第14号　竹原市郷土産業振興館の指定管理者の指定について

・**内　容**／竹原市郷土産業振興館の指定管理者を指定しようとするもの。

・**質　疑**／振興館の目的を達成するために、交通アクセス等の改善と収益の向上に向けての手段は。

・**答　弁**／確かにアクセス道路が狭い部分はあるが、現時点においては運営できている状況下であり、海路の活用も検討している。収益については、海ブドウの安定的な供給をはじめ、漁協さんや生産者のノウハウを最大限生かし、収益向上につなげていきたい。

議案第21号　竹原市空家等の適正な管理に関する条例案

・**内　容**／空家等に関する対策を推進し、誰もが安全・安心で快適に住み続けられる住環境の保全を図ることを目的として、空家等の適正な管理に関し必要な事項を定めるもの。

・**質　疑**／空家の所有者に対して、どのように取り組まれるのか。

・**答　弁**／相続に向けた終活講座の開催、空家バンクの利用促進等、放置空家の発生を未然に防ぐための取組をする。

下垣内 和春（しもがきうち かずはる）

●第6次竹原市総合計画後期基本計画(案)等について
●持続可能な財政運営について
●義務教育学校(仮称)賀茂川学園設立に向けての取組について

動画

質問 **竹原市デジタル田園都市国家構想総合戦略の市民への利便性について**

答弁 **市長** デジタルの実装を通じて、地域社会の課題と魅力の向上を図っていくことを重要とし、テレワークやワーケーションなど労働者が働きやすい環境づくりの促進やオンラインによる申請、相談環境の整備などデジタルを活用し、利便性の向上を図ってまいります。

質問 **企業誘致や市助成制度を活用した企業立地の具体的な取組について**

答弁 **市長** 民間遊休地をはじめとした市内への企業誘致活動やサテライトオフィス、スタートアップ誘致活動など関係機関と連携しながら取り組んでまいります。

質問 **防災・減災対策として、流域治水による対策と巨大地震等の施策取組について**

答弁 **市長** ポンプ場の増強や遊水池の浚渫を実施し、各事業の早期完成を目指してまいります。建物倒壊被害対策として、住家の耐震診断、耐震改修への補助制度を設け、耐震化率の向上に取り組んでいるところであります。災害発生時の初動体制の再確認など、平常時からの震災対策に取り組んでまいります。

質問 **持続可能な財政運営の施策について**

答弁 **市長** 事業運営につきましては、有利な財源の活用と、自主財源として活用できるふるさと応援寄付増額の取組強化と併せ、受益者負担の観点から自主財源の確保に努め、安定的な財政運営に努めてまいります。

質問 **（仮称）賀茂川学園基本設計について**

答弁 **教育長** 学年ごとの教室が確保できるよう改修を行うとともに、遊具の設置や給食配膳室の拡充等、義務教育学校として運営が可能な改修を行い、子どもたちが安心して学校生活を送れる環境の整備を行います。

質問 **設立準備委員会協議内容、スケジュールについて**

答弁 **教育長** 令和9年4月の開校に向けて、校名、校歌、教育カリキュラム、通学支援、放課後児童クラブ等について協議する予定です。

道法 知江（どうほう ともえ）

●竹原市デジタル田園都市について
●提案能力を持つ若者会議(協議会)設置
●女性の生涯を通じた健康支援

動画

質問 **デジタル実装を通じて、本市が抱えている課題解決とデジタル基盤整備をお聞きいたします。**

答弁 **市長** 本市の喫緊の課題である人口減少抑制のため、「社会減の緩和」「自然減の緩和」「賑わいと活力の創出」に向け、総合戦略4つの施策「仕事づくり」「移住・定住の促進」「結婚・出産を希望する人への支援」「出産前・出産後の支援」「子育て支援」「地域力の強化」「まちの魅力向上」を推進します。

令和7年度までに住民基本台帳、戸籍、税、福祉など基幹業務システムの標準化を進めます。

質問 **若者が社会課題の解決に参画する仕組みとして、若者会議の実現を提案します。若者が希望を持って将来展望が描ける環境整備をすることで、地域の活性化につながると思います。**

答弁 **市長** 地域課題の解決や魅力づくりなどについて、様々な意見を聞くことは大変重要と捉えており、令和6年度は地域交流センターを単位とする各地域や市内の高等学校・中学校など様々な場所へ積極的に出向き、皆様からお聞きした意見を市政運営に反映させてまいります。

質問 **女性の多種多様な健康課題を社会全体で支える仕組みが大事です。更年期症状・障害のことはどこの施策にもありません。40代～60代女性4379人、70代以上は4834人（令和5年12月）います。この方たちが安心して受診するための診療体制は充足されていますか。**

骨密度検査を積極的に行うなどの工夫もお聞きいたします。

答弁 **市長** 産婦人科医確保は大変厳しい状況であり、引き続き、安田病院や近隣医療機関、県と連携し、市民の皆様が安心して受診できる体制の確保に努めてまいります。

女性のライフコース上の特性を踏まえ「女性の健康」に重点を置いて取り組み、保健センターにおける相談体制の充実や、今後、骨粗鬆症予防対策を推進するため、骨粗鬆症検診の実施体制の整備に取り組んでまいります。

高重　洋介（たかしげ　ようすけ）

●防災全般について

質問　**災害の発生により上水道インフラが被災し、復旧作業が長期化した場合、生活用水の確保、生活排水処理ができなくなり、トイレなどに深刻な衛生問題が発生します。**

公共下水道工事により使わなくなった浄化槽に雨水を貯めることにより、一時的ではありますが、河川への放流量を抑えることができます。市販の雨水タンクに比べ、より多くの水を貯蔵でき、不要になった浄化槽を有効に利用することができます。浄化槽を有効活用するための市の補助金があれば、公共下水道の接続推進にもつながります。

本市はどのようにお考えかお伺いします。

答弁　**市長**　浄化槽の雨水貯留槽への転用については、公共下水道が整備され切替えする際に、容量の大きな浄化槽をそのまま廃止するのではなく、雨水貯留槽として再利用することで、先ほどの雨水タンク設置の効果に加えて治水上の効果もあることから、現在取組を進めているところであります。

治水上の効果の一つ目としては、大雨の際に雨水を貯留することにより、水路や河川への直接的な流出が抑制でき、ピークを遅らせる効果があり、整備戸数によっては浸水被害が抑制されることとあります。

二つ目としては、地域住民も含めて浸水対策に取り組むことにより、浸水対策に係る意識啓発の効果が期待でき、地域の方々の防災意識の向上につながるものと考えられます。こうしたことから、浄化槽の雨水貯留槽への転用は、現在国、県及び本市が進めている流域治水の観点にも合致しており、県の本川浸水対策重点地域緊急事業、本市のハード対策と併せて取り組むことは非常に効果が大きいものと考えております。

利用者にとっては使用水量の節減につながることも含めて、啓発活動を実施していくこととしております。

雨水貯留槽への転用に伴う各種費用負担に対する支援については、雨水タンク同様に対象地域や特定財源の活用策等、今後調査検討してまいります。

宇野　武則（うの　たけのり）

●行政監査報告の取組について●商工会議所問題について
●財政健全化計画について
●財政問題について ●観光振興について

質問　**令和４年市監査委員から市長に報告書が提出、監査の着眼点は事務事業は経済的・効果的に執行され、法令に従って適正に行われているか。調査の結果、７４６件、適用事務数４３４件、要調査数３１２件で二社以上見積書なし、契約書なし２５７件、調査月別10月２６２件、12月２０２件、４月２８２件、監査報告を受け、副市長は関係部署にどのように指示をされたのか。**

答弁　**市長**　当該指摘事項を通知、契約規則の遵守、契約書・支出命令書の写しの添付などチェック機能を強化、適正な事務執行に努めるように指示いたしました。

質問　**県合同庁舎の年間維持費について伺います。**

答弁　**市長**　広島県３６００万円、市１１６５万円、会議所６２５万円の負担です。

質問　**会議所の県支出金は０円。市は会議所にビルを無償貸与、会議所は市民の大きい負担によって運営、財政改革の足枷になるのでは。また、市から同所に高額な補助金が支出されているが、正当な理由はあるのか。**

答弁　**市長**　商工会議所無償貸与は創建ホームから市の活性化に資するよう寄附をいただき、その意向を考慮し、無償貸与にしたものです。会議所への補助金については、小規模事業者への経営相談、商工業振興に資するための補助金です。

質問　**財政健全化の取組は、基金増など一定の効果があったとの市長答弁ですが、公共施設ゾーン整備や少子高齢化、人口減による税収減など、今後財政は一段と厳しくなることが想定されます。事業の選択と集中は今後の行政運営の基本と思いますが、市民への説明責任と理解、協力は欠かせません。最終的には市長のリーダーシップと思いますが。**

答弁　**市長**　現下の厳しい財政状況の中、平成31年策定の財政健全化計画に基づき、取組の推進目標を達成しました。しかし、人口減や市税や地方交付税など歳入減少、少子高齢化等による社会保障関連経費等の増加など今後も厳しい財政運営が続くと想定されます。市民の協力を得ながら行政サービスを提供し、安定的な財政運営に努めます。

松本（まつもと）　進（すすむ）

●本郷産廃場の水源汚染問題について
●竹原市中央公園等の適正な管理について
●市営我元行墓地の進入路整備について

動画

質問　今年1月12日、本郷産廃場から調整池に入る水路のマス枠の水に泡が出ていました。このマス枠等は排水をろ過する役割ですか。産廃場ができて、沢の水が飲めなくなった原因はどこにありますか。

答弁　**市長**　広島県は、マス枠など産廃施設は事業活動に係る情報であり、詳細は答えられないが、この設置で浸透水の水質検査の結果に影響を与えていない。これまで3回実施し、いずれの項目も管理基準等に適合と県議会に報告しています。

質問　なぜ、泡の分析をしないで影響はないと断言できるのですか。

答弁　**市長**　この検査主体は広島県です。結果のみを聞いています。

質問　安定型産廃場の排出水が変質・悪化しないという約束は実行されていません。地方自治法での市の仕事は住民福祉の増進と定め、企業の利益を守るとは明記していません。

住民の命と健康を守り、水源汚染防止の有効な手段は水道水源保護条例の制定です。

答弁　**市長**　本市は、上位法の下に各権限者が適切な管理を進めて環境保全を図っていきます。

質問　中央公園施設は老朽化が激しく、樹木は老木・大木が多く、外から公園内が見通せない閉鎖的な空間です。これでは住民が安心・安全・気軽に利用できません。

答弁　**市長**　中央公園の整備は平成25年度に老朽化した遊具を撤去し、複合遊具や健康遊具を整備、定期的に樹木の伐採を実施しています。今後も市民ニーズの把握に努め、安心できる公園整備に取り組みます。

質問　市営墓地進入路は道幅が狭く、車の離合で自宅の駐車場が使われないように警告ポールを設置。以前、車が道路から落ちて危険ですと住民は市道の路幅を求めています。

答弁　**市長**　市道の拡幅は、道路と並走する河川の改修が必要であり、多額の事業費を要します。当面、墓地内道路工事完成後の通行状況を見ながら、必要な財源確保に向けて調査研究を行います。

山元（やまもと）　経穂（つねお）

●令和6年能登半島地震から考える本市の防災について
●「竹原市デジタル田園都市国家構想総合戦略」、「竹原市人口ビジョン」及び「第6次竹原市総合計画後期基本計画」について

動画

質問　令和6年能登半島地震から考える本市の防災についてお伺いいたします。

答弁　**市長**　この度の能登半島地震においては、建物倒壊や地盤の液状化、また火災に加えて幹線道路が寸断したことにより、被災地への救助、救援や支援物資の輸送が困難となる等、甚大な被害が発生しているところであり、南海トラフ巨大地震等の発生が予測される中、本市といたしましても防災体制の一層の強化に取り組まなければならないと改めて痛感したところであります。

　また、地震災害は大雨災害と違い、災害発生前に避難する時間的余裕、いわゆるリードタイムがなく、いつ、どこで発生するのかを予測することが困難でありますが、南海トラフ巨大地震等の被害の想定を踏まえて、消防や警察をはじめとする関係機関との連携強化や初動体制の再確認等、万全の体制を確保できるよう備えてまいります。

質問　「竹原市デジタル田園都市国家構想総合戦略」、「竹原市人口ビジョン」及び「第6次竹原市総合計画後期基本計画」についてお伺いいたします。

答弁　**市長**　「総合計画後期基本計画」における取組の考え方については、重点的に取り組む施策を「竹原市デジタル田園都市総合戦略」に位置付け、デジタルの力を活用した地方創生の取組により、「総合計画」と一体的かつ積極的に持続可能で魅力あるまちづくりを推進していくこととしております。

　また、「人口ビジョン」から見えてきた3つの課題である「社会減の緩和」、「自然減の緩和」、「賑わいと活力の創出」の解決に向け、4つの基本目標を設定し、これに沿った施策の方向性を「仕事づくり」、「移住・定住の促進」、「結婚・出産を希望する人への支援」、「出産前・出産後の支援」、「子育て支援」、「地域の強化」、「まちの魅力の向上」として、それぞれの項目に重要業績評価指標を設定し、目標の達成を目指して、施策を推進していくこととしております。

平井（ひらい）　明道（あきみち）

●政府の財政問題と地方財政について

質問　政府の財源に限りはありません。財政法４条は単なる財政規律であり、ＰＢも閣議決定のみで、憲法第13条よりも優先することはありません。

　これ以上、税負担を増やし、国民生活を窮乏させることは憲法違反と考えますが、市長はどのようにお考えでしょうか。

答弁　**市長**　国の財政運営に対する憲法判断につきましては、あくまで国において、整理されるべき問題であると考えております。

質問　竹原市財政は厳しいが、政府は自由に国債を発行できる。地方自治体は地方交付税頼みとなっており、いわば、政府に財政を握られているといっても過言でない。住民の生活は限界に来ています。

　将来世代に夢や希望を与えるためにも、国や県への積極的な要望はどのような項目で行われておりますか。

答弁　**市長**　様々な制度・施策等について、全国市長会等を通じ、機会を捉えて要望活動を行っております。

質問　「日本国債が破綻する」などというデマは、将来世代に不安をあおる原因となり、高齢者への「いたわり」の気持ちがなくなると思います。正しい理解を得るために、市民講座等を開いて、将来世代が不安を持たないようにしなければならないと思いますが、市長の見解をお伺いします。

答弁　**市長**　国の将来展望につきましては、国の責任におきまして国民一人一人に適切に周知を図り、不安を抱かせない施策を着実に実行していくべきものと考えております。また、市といたしましては、市の事務事業などに結びつくようなもの、市民のみなさんに周知、理解を得る必要があるものは、適切に対応してまいらないといけないと考えております。

質問　１月１日に発災した令和６年の能登大地震をみても、地方のインフラ整備、特に道路（市道）、基盤整備など、平時から継続して取り組んでいくべきではないか。

答弁　**市長**　地域や自治会からの要望もお聞きしながら、まちづくりを進めてまいります。

議会のうごき

１月２６日	議会運営委員会
１月２９日	広島県水道広域企業団議会定例会
２月　２日	広島県東部ブロック議員研修会
２月　６日	大阪府貝塚市議会来庁
２月　９日	市議会議員共済会代議員会
２月１３日	広島県後期高齢者医療広域連合議会定例会
２月１４日	議会運営委員会
２月１５日	愛媛県大洲市議会来庁
２月２０日	本会議
	予算特別委員会
２月２１日	総務文教委員会
２月２２日	民生都市建設委員会
２月２６日	議会運営委員会
	本会議
２月２７日	本会議
２月２８日	本会議
２月２９日	本会議
３月　１日	予算特別委員会
３月　４日	予算特別委員会
	議員研修（応急手当講座）
３月　５日	予算特別委員会
３月　６日	予算特別委員会
３月１２日	予算特別委員会
３月１５日	議会運営委員会
	本会議
	議員研修（ハラスメント研修）
３月１６日	中央環境衛生組合全員協議会
３月２８日	中央環境衛生組合定例会
４月１７日	広島県市議会議長会定例会
４月１９日	総務文教委員会
４月２３日～２４日	中国市議会議長会定期総会

この間、広報広聴委員会は２回行いました（2/20，4/11）。

議員研修会を開催

記事：村上　まゆ子

応急手当講習

心肺蘇生について、練習用のマネキンを使用し、救命処置の手技を学びました。最近は空港や駅、公共施設など、様々な場所にＡＥＤが備えつけられています。

自分の職場や通勤途中など、どこにＡＥＤがあるのか皆さんは知っていますか？いざという時、素早く対応できるようＡＥＤがどこにあるのか確認し、日頃の意識と訓練が必要だと学ぶことができました。

最近では、ライブ１１９という新しいサービスも始まっています。１１９番通報した際にスマートフォンで現場を撮影し、司令員へ映像を送信できる新しいサービスです。急な救命処置の現場でも司令員が指示を出し、適切な処置の方法を案内してくれます。心停止が起こった人の治療は1分1秒が大切であり、一人でも多くの人が「何か一つ」でも行動に移すことで救命リレーがスタートすることを教わった研修でした。

▲講習の様子（東広島市消防公式インスタグラム）

▲ライブ119について

ハラスメント研修

市民の代表である市議会議員は、市民より高い倫理観と自覚を求められているとの話が講義の始まりでした。

▲講師：人権擁護委員
金口 浩二さん

最近のニュースでは、首長や議員によるパワハラやセクハラが日常的に報道され、謝罪や辞職報道も多くあります。では、議員としてどのような対応が必要でしょうか。

議場等で個人情報をさらすことや公人の立場で個人を否定することもハラスメントに該当すると教わりました。

「昔は許されていたことが今は許されない」という講師の言葉をしっかりと理解し、議員がハラスメントをしないのは大前提であり、相手のことを思いやるという基本を教わった研修でした。

特集

たけはらこども相撲

▲竹原高校相撲部のみなさん

《特集後記》

日曜日の朝、道場で稽古に励む子どもたちに元気をもらいました。

卒業生の中には大学時代に日本一になった人もいます。取材に行ったときも、高校、大学、社会人で活躍している道場の先輩方が市外からも多数参加されて、子どもたちを丁寧に指導されていました。中学生、高校生が激しくぶつかりあう迫力のある稽古もあり、大川道場の素晴らしい伝統を感じることができました。

また、竹原高校の相撲部は、先日３月16～17日に高知県高知市で行われた令和５年度全国高等学校相撲選抜大会において、団体戦で決勝トーナメント進出、個人１００kg級で１年生がベスト16に進出しました。

相撲は日本の国技であり、特に竹原、安芸津、因島は相撲が盛んな地域としての伝統があります。競技人口は減少していますが、大切な財産を次世代に継承するために、頑張っている子どもたちや指導者の皆さんをこれからも応援していきます。

宇野　武則

お知らせ

くわしくは会議録で…

掲載されている一般質問や答弁は、要約したものです。本会議の内容をくわしく知りたい方は会議録でわかります。

市の議会事務局と竹原書院図書館に備えてありますので、ご利用下さい。また、市のホームページにも掲載しています。

YouTube JP　竹原市議会　検索

次回定例市議会は、6月中旬からの予定です。
みなさん、市議会を傍聴しましょう。

編集後記

今回の特集は「こども相撲」です。こどもたちの写真を多く掲載しましたが、今後も読みやすい議会だよりとなるようにしていきます。

４月に福山市、三次市で市議会議員選挙が行われました。各地で地方議員のなり手不足が言われる中、福山市では定員数38に対して候補者56名、三次市では定員数22に対して候補者23名でした。どちらも激しい選挙戦になったようです。

竹原市議会議員政治倫理条例では「議員は、自ら研鑽を積み、資質を高め、品位を保ち、その使命達成に努めなければならない」とされており、令和６年になって３回議員研修会を実施しました。内容は「予算・決算の審査のポイント」「応急手当講習」「ハラスメント研修」です。今後も研修などで研鑽を積んでいきたいと思います。

今田　佳男

「広報広聴委員」◎委員長 ○副委員長
◎村上まゆ子　○平井　明道
蕎麦田俊夫　今田　佳男
堀越　賢二　宇野　武則